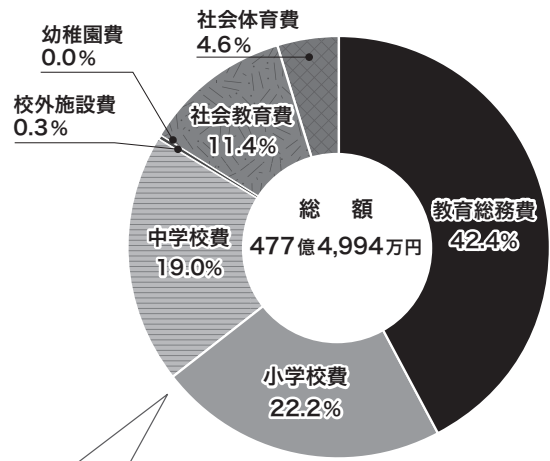


令和8年度 教育費予算の概要と主な事業

教育委員会では「かつしか教育プラン(2024~2028)」に基づき、より必要性の高い施策に予算を重点的に配分しています。詳しくは区公式ホームページをご覧ください。なお、各事業の金額は100万円未満を四捨五入しています。

令和8年度当初予算 教育費の内訳 (金額は千円単位を四捨五入)

	予算額	主な使い道
教育総務費	202億2,892万円	教育委員会の運営、教育情報化、小中合築校舎等の建設など
小学校費	106億1,843万円	小学校の管理運営、校舎の建て替え
中学校費	90億8,896万円	中学校の管理運営、校舎の建て替え
校外施設費	1億4,552万円	日光林間学園の管理運営
幼稚園費	1,702万円	区立幼稚園の管理運営
社会教育費	54億4,366万円	生涯学習や青少年育成、図書館の運営など
社会体育費	22億742万円	体育施設の管理運営など
合計	477億4,994万円	



令和8年度の教育費は令和7年度と比較して128億9,276万円(率にして37%)の増となりました。区の一般会計(2,829億6,000万円)のうち、16.9%を占めています。

学校施設の改築 (170億9,300万円)

通学区域の変更等も視野に入れつつ学校の適正規模を確保し、地域とのつながりも重視しながら、学校施設の計画的な改築を推進します。8年度は次の学校で引き続き改築等を進めます。

水元小学校、道上小学校、二上小学校、よつぎ小学校・四ツ木中学校、宝木塚小学校、常盤中学校、柴又小学校・東柴又小学校、東四つ木小学校・中川中学校、小松南小学校、本田小学校

防災ヘルメットの全校配備【新規】 (2,600万円)

区立小・中学校の防災対策として、防災ヘルメットが配備されていない学校への導入及び老朽化した防災ヘルメットの更新を順次実施していきます。8年度は、9年度に入学する児童・生徒を対象に配備します。

学用品の学校備品化【新規】 (1,800万円)

これまで保護者負担で購入していた学用品の一部(算数セット、彫刻刀、粘土板等)を学校備品として配備することで、子育て世帯の経済的負担を軽減します。

総合的な学力向上事業～次代に活躍する人材の育成～ (1億3,500万円)

7年度に導入した新聞記事を教材にしたワークシートの対象学年を、小学5年生から中学3年生までに拡大します。また、かつしかチャレンジプログラムの取組に、学習センター(学校図書館)を活用し、読む力及び情報活用能力を高め、探究的な学びに取り組むコースを新設します。

放課後及び夏季休業期間の学習センターの開放【新規】 (2億6,300万円)

放課後や夏季休業期間に学校司書を学習センター(学校図書館)に配置し、子どもたちの読書活動や探究的な学びを充実させ、主体的な学びや課題を見つけ解決する力を高めます。

教育情報化推進事業 (21億7,600万円)

小学校のプログラミング教材を更新するほか、かつしかチャレンジプログラムの「プログラミングコース」を拡充するなど、プログラミング教育の充実に取り組みます。

発達障害の可能性のある子どもに対する重層的な支援体制の充実 (2億1,800万円)

現在一部の小学校で試行導入している認知機能強化トレーニングアプリを全ての小学校の特別支援教室へ拡大するほか、特別支援教室に通室している児童の保護者を対象に実施している「ペアレントトレーニング」を、現行の小学1年生から3年生に加えて、小学4年生から6年生までの保護者も参加できるよう、対象を拡大して実施します。

日本語指導の充実 (9,600万円)

日常の学校生活で使う日本語や生活習慣を身に付ける必要がある子どもに対して、日本語の初期指導を行う「にほんごステップアップ教室」の3教室目を金町地域に開設します。

不登校対策プロジェクト (1億4,000万円)

登校はできるものの教室に入ることができない子どもを支援するための「校内サポートルーム」の運営を全中学校で開始します。また、ゆとりある生活時程の中で、生徒一人一人の実態に応じた支援を行う学級である「チャレンジクラス」を双葉中学校に設置します。

学校施設等を活用した放課後子ども支援事業 (6億3,000万円)

待機児童解消に向けた緊急対策としての放課後居場所事業「かつしかプラス」を新たに1校で開始するとともに、夏季一時学童保育の実施クラブを5クラブ拡大します。

スポーツ施設の利用しやすい環境整備 (5億2,600万円)

奥戸総合スポーツセンター陸上競技場天然芝化工事及び陸上競技場照明設備改修工事、水元公園スケートボード広場整備基本設計・実施設計などを行います。

デジタル技術の効果的な活用推進 (2,400万円)

デジタル技術を積極的に活用することにより、図書館サービスの向上や業務効率化に取り組んでいきます。8年度は、お花茶屋図書館及び上小松図書館にセルフ予約棚及び簡易返却機を導入するほか、自動貸出機を増設します。